

演習林氣象報告 (第四回)

自 昭和十六年
至 昭和三十年

京都大学農学部附屬演習林

昭和三十一年九月

演習林氣象報告 (第四回)

自 昭 和 十 六 年

至 昭 和 三 十 年

METEOROLOGICAL OBSERVATIONS

IN THE

FORESTRY EXPERIMENT STATIONS

1941 — 1955

京都大学農学部附属演習林

昭和三十一年 八月

京都大学農学部附属演習林ならびに試験地に所在する観測所、ハケ所の各気象観測結果は本部調査係において気象年報として毎年一ヶ年分を取纏め置き更にこれを五ヶ年毎に輯録、印刷することとし、既に昭和八年（オ一回）昭和十三年（オ二回）と昭和十七年（オ三回）を刊行した。

本篇はそのオ四回報告にして、昭和十六年より昭和三十年に至る十五ヶ年間の観測結果および各地観測所開設以来昭和三十年までの累年気象概況を併せて編集したものである。

演習林氣象報告（第四回）

目次

本部試驗地（京都）觀測所 自昭和十六年至昭和三十年	1
累年本部試驗地氣象概況	32
上賀茂試驗地（京都）觀測所 自昭和十六年至昭和三十年	33
累年上賀茂試驗地氣象概況	64
芦生（京都）觀測所 自昭和十六年至昭和三十年	65
累年芦生氣象概況	96
芦生 長治谷（京都）觀測所 自昭和十六年至昭和三十年	97
累年長治谷氣象概況	126
上湯川（和歌山）觀測所 自昭和十六年至昭和三十年	127
累年上湯川氣象概況	142
徳山試驗地（徳山）觀測所 自昭和十九年至昭和三十年	161
累年徳山試驗地氣象概況	180
裸茶（北海道）觀測所 自昭和二十五年至昭和三十年	143
白糠（北海道）觀測所 昭和三十年 自七月至十二月	157

附圖 觀測所一覽圖（一）

各演習林觀測所附近地形圖（二）

氣溫及湿度表累年平均（三）

降水量表累年平均（四）

結 言

本報告は、京都大学農学部附属演習林各地の観測所における、昭和十六年より昭和三十年に至る十五年間の気象観測の成績、ならびに附設当初からの累年気象概況を編纂したものである。

従来五ヶ年毎に輯録して発行したのであるが、昭和十七年に才三回発行後は、戦争たけなわの時期から終戦後に至る不安定の期間にて、発行する運びに至らず、今回十五年分を一纏めにして発行するのやむなきに至った。

したがって、既設の台湾、朝鮮、樺太の外地にある多くの観測所を失い、新に徳山および北海道に二ヶ所の観測所を新設し、下記の八ヶ所について編纂した。

観 測 所 一 覧 表

番号	観測所名	所在地	北緯	東経	海面高	観測開始年月	備考
1. A	本部試験地 (京都)	京都大学農学部演習林構内	35° 02'	135° 47'	60.0 ^m	大正14年7月	
1. B	上賀茂試験地 (京都)	京都市北区上賀茂本山西	35° 4'	135° 46'	140 ^m	昭和3年4月 昭和24年5月	試験地の異動
2. A	芦生演習林 芦生(京都)	京都府北桑田郡美山町芦生	35° 18'	135° 43'	359.0 ^m	大正14年1月	
2. B	芦生演習林 長谷谷(京都)	全 上	35° 20'	135° 45'	64.0 ^m	昭和12年12月	
3.	和歌山演習林 上湯川(和歌山)	和歌山県有田郡清水町上湯川	34° 04'	135° 30'	569.0 ^m	昭和8年11月 昭和28年9月	一時中止
4. A	北海道演習林 標茶(北海道)	北海道釧路国川上郡標茶町	43° 19'	142° 37'	25 ^m	昭和25年7月	
4. B	北海道演習林 白標(北海道)	北海道釧路国白糠郡白標町	43° 1'	143° 58'	70 ^m	昭和30年7月	
5.	徳山試験地(山口)	山口県徳山市笹葉ヶ丘舞車	34° 10'	131° 50'		昭和19年1月	

観測の時刻、方法ならびに記載方法などは演習林報告や四号演習林気象報告(カ一回)所載の京都大学演習林気象観測法ならびに気象月報記載方に準拠したもので、その要旨は次の通りである。

1. 観測は従来は午前十時一回であったのであるが、各气象台、その他においては昭和28年1月から一回観測は午前九時に改正されたので当演習林においては昭和三十年六月から午前九時一回に改めた。
2. 気圧は水銀晴雨計を用い示度はmmを以て示す。本部および上賀茂試験地観測では温度更正をし、その他の観測所ではまだその設備がない。
3. 温度は摂氏の度により氷点以下は負数をもって示す。池温の測定には地表は棒状、深さ0.3mまでは曲管、2.0mまでは鉄管地中寒暖計を用いた。
4. 湿度は百分比にして乾湿計示度より気象常用表を用い算出したものとする。蒸発計および雨量計は本邦常用のものを使用した。
5. 風向は八方向に分けた風信器を用い、観測時の示針を記録す。徳山試験地では風信器の設備がない為目測にて記録す。
6. 日照時数測定にはジョルダン式日照計を使用した。なお日照表の設備がある観測所は、芦生演習林(芦止)和歌山演習林、本部および上賀茂試験地の四ヶ所のみで他は設備がない。
7. 電雷日数は遠雷にして降雨を伴わない場合を除き、霧、露日数は微弱なものを含まない日数とした。また雨日数は降水量の多少を問わぬ雨の現象のあった日数、暴風日数は風級4以上と達した日数である。

昭和三十一年八月二十五日印刷

昭和三十一年八月三十日発行

京都大学農学部附属演習林

京都市左京区北白川進分町

印刷所 株式会社 雄輝社

京都市左京区京都大学北門前

